

  
公式ケータイサイト  
<http://fctokyo.sportsinfo.jp>

  
<https://twitter.com/fctokyoofficial>

  
<https://www.facebook.com/fctokyo>

  
<http://line.me/ti/p/@fctokyo>

  
<https://www.instagram.com/fctokyoofficial>

 **YouTube**  
<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>

<https://www.fctokyo.co.jp>



# ACTIVITY REPORT 2019

# 強く、愛されるチームをめざして

## ごあいさつ

日頃よりFC東京に多大なるご支援・ご声援を賜り、ありがとうございます。今シーズンはラグビーワールドカップによる変則的なスケジュール、都外でのホームゲーム開催、味の素スタジアムでの開催時においても工事等の影響があるなど、自分たちではコントロールしきれない要素が多いシーズンとなり、みなさまには大変なご迷惑をおかけいたしました。

そのような状況のもと、チーム成績(J1リーグ戦2位)、ホームゲームご来場者数(計536,187名/一試合平均31,540名)、営業収益(50億円超見込み)と、いずれもクラブ史上最高となりました。これもみなさま熱い応援のお陰であり、重ねて御礼申し上げます。しかしながら、ここがゴールではありません。さまざまな“今シーズンの数字”を、来シーズンも達成できるとは限りません。クラブとしてさらに競争力を培い、進化していくことが必要だと感じています。

そこで「競争に勝つことのできるクラブ」をめざして、2020年1月に2023VISIONを発表いたします。本来であれば、2020年は2020VISIONを実行する過程ではありますが、スピード感を持って視野と志をさらなる未来に向け、「目に見える変化」を求めて新シーズンから取り組んでいく所存です。

2020シーズンは、東京オリンピック・パラリンピック開催のため、味の素スタジアムでの開催については再び変則的なスケジュールとなる可能性があります。またACL出場権を獲得し、アジアでの期待が高まる一方、リーグ戦の平日開催など、現段階では不確定な要素も抱えています。それでも私たちは失敗を恐れず、東京らしく、ひたむきにみなさまと共に戦っていきたくてお思いますので、ぜひ今後とも、ご支援・ご声援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



東京フットボールクラブ株式会社  
代表取締役社長 **大金 直樹**

## 会社概要

### 会社名

東京フットボールクラブ株式会社  
TOKYO FOOTBALL CLUB Co., Ltd.

### 創立

1998年10月1日(都民の日)

### 主な事業

- プロサッカーチーム「FC東京」の運営(1999年よりJ1リーグディヴィジョン2に加盟)
- サッカースクールおよびサッカーの普及活動
- チームのオリジナルグッズの製作・販売

### エンブレム



### 所在地

[調布事務所]  
〒182-0034 東京都調布市  
下石原1-2-3 TSOビル  
【TEL】042-444-2630

[深川グラウンド]  
〒135-0003 東京都江東区  
猿江2-15-10

[小平グラウンド]  
〒187-0001  
小平市大沼町3-14-1  
東京ガス武蔵野苑内

### 資本金

1,187,000,000円  
(2020年1月31日時点)

## BASIC PHILOSOPHY

### FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型」リーグクラブづくりを目指します。



1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。

2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これを「リーグクラブの組織づくりのベース」とし、その発展・拡大により実現していく。

3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感(地域社会への帰属意識)の醸成・地域社会の活性化に寄与する。

4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。

## 2020 VISION

# SO THAT TOKYO SHINES

～東京が輝くように～

ファン・サポーターをはじめとしたステークホルダーのみなさまに“より価値のあるもの”を提供していくために、クラブの従来のイメージを打破し、FC東京が強く、先進的かつダイナミックなクラブとして変わっていくこと、そしてホームタウンで開催される東京2020オリンピック・パラリンピックが成功し、『東京』が光り輝くように!

### 強く、愛されるチームの輝き

アジアトップレベルの育成体制、そして、アジアで戦えるチームに進化していきます。

- ・アジアトップレベルの育成体制の構築
- ・J1リーグ戦制覇、アジア制覇の実現

### FC東京ブランドの輝き

FC東京ファミリー(FC東京に関わるすべてのみなさま)の喜びにつながる価値を提供していきます。

- ・FC東京ファミリーの拡大
- ・スタジアム環境のさらなる充実
- ・FC東京ブランド価値の向上

### ホームタウン東京の輝き

地域のみなさまに愛され必要とされる存在となり、東京2020オリンピック・パラリンピックに貢献していきます。

- ・地域コミュニティへの貢献
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックへの貢献

### ■ 具体的な数値目標

アカデミー出身 トップチーム登録数	10人	J1リーグ戦 1試合平均ご来場者数	30,000人
SOCIO	12,000人	クラブサポート メンバー	30,000人
営業収入	50億円	サッカースクール (派遣校含む)	30校 5,000人

## クラブの歴史

1935	前身である東京ガスフットボールクラブ創部。
1986	東京都リーグより関東リーグに昇格。
1991	全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果たす。
1992	JFLに加入。
1997	天皇杯でリーグ勢を3連破し、準決勝へ進出。
1998	JFL念願の初優勝を飾る。 Jリーグディヴィジョン2(J2)に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のリーグクラブが誕生。
1999	ヤマザキナビスコカップベスト4進出。 J2リーグでは2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
2000	J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
2001	東京スタジアム(現味の素スタジアム)開業。
2004	ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
2008	クラブ創設10周年を迎える。第32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8、天皇杯ベスト4。
2009	ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロンバ」が登場。
2010	J1リーグで16位となり、J2降格。「2010 Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
2011	J2リーグで優勝、1年でのJ1リーグ復帰。第91回天皇杯で初優勝、AFCチャンピオンズリーグ(ACL)出場権獲得。
2012	FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。ACLラウンド16に進出。J1リーグ10位。
2014	J1リーグ9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合無敗を達成。
2015	2ステージ制の導入。J1リーグ1stステージ2位、2ndステージ6位。年間4位。ヤマザキナビスコカップベスト8、天皇杯ベスト8、ACLプレーオフ出場権を獲得。
2016	ACLラウンド16進出。J1リーグ1stステージ9位、2ndステージ9位。年間9位。ルヴァンカップベスト4、天皇杯ベスト8、FC東京U-23を編成、J3リーグ10位。
2017	J1リーグ13位、J3リーグ11位、ルヴァンカップベスト8、天皇杯2回戦敗退。「2017 Jリーグアウォーズ」最優秀育成クラブ賞、フェアプレー賞を受賞。
2018	J1リーグ6位、J3リーグ14位、ルヴァンカップグループステージ敗退、天皇杯ラウンド16(4回戦)敗退。「2018 Jリーグフェアプレー賞」をJ1リーグ、J3リーグで受賞。
2019	J1リーグ2位、J3リーグ16位、ルヴァンカップ準々決勝進出、天皇杯3回戦進出。2019 JリーグアウォーズにてFC東京が「フェアプレー賞高円宮杯」を、FC東京U-23が「フェアプレー賞(J3)」を受賞。

## 2019 順位・戦績

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	横浜F・マリノス	70	22	4	8	68	38	30
2	FC東京	64	19	7	8	46	29	17
3	鹿島アントラーズ	63	18	9	7	54	30	24
4	川崎フロンターレ	60	16	12	6	57	34	23
5	セレッソ大阪	59	18	5	11	39	25	14
6	サンフレッチェ広島	55	15	10	9	45	29	16
7	ガンバ大阪	47	12	11	11	54	48	6
8	ヴィッセル神戸	47	14	5	15	61	59	2
9	大分トリニータ	47	12	11	11	35	35	0
10	北海道コンサドーレ札幌	46	13	7	14	54	49	5
11	ベガルタ仙台	41	12	5	17	38	45	-7
12	清水エスパルス	39	11	6	17	45	69	-24
13	名古屋グランパス	37	9	10	15	45	50	-5
14	浦和レッズ	37	9	10	15	34	50	-16
15	サガン鳥栖	36	10	6	18	32	53	-21
16	湘南ベルマーレ	36	10	6	18	40	63	-23
17	松本山雅FC	31	6	13	15	21	40	-19
18	ジュビロ磐田	31	8	7	19	29	51	-22

※下位2チームがJ2リーグ降格  
※2020シーズンより柏レイソル、横浜FCがJ1リーグ昇格

節・戦	開催日	対戦相手	スコア	会場
【グループステージ(Bグループ)】				
1	3/6(水)	柏レイソル	●2-1	三協フロンテア柏スタジアム
2	3/13(水)	ベガルタ仙台	●2-1	ユアテックスタジアム仙台
3	4/10(水)	サガン鳥栖	○1-0	秩父宮ラグビー場
4	4/24(水)	柏レイソル	○2-0	NACK5スタジアム大宮
5	5/8(水)	ベガルタ仙台	△0-0	秩父宮ラグビー場
6	5/22(水)	サガン鳥栖	○1-0	駅前不動産スタジアム
【プレーオフステージ】				
1	6/19(水)	セレッソ大阪	○1-0	味の素スタジアム
2	6/26(水)	セレッソ大阪	△1-1	ヤマスタジアム長居
【ブライムステージ 準々決勝】				
1	9/4(水)	ガンバ大阪	●1-0	パナソニックスタジアム 吹田
2	9/8(日)	ガンバ大阪	○2-1	NACK5スタジアム大宮

回戦	開催日	対戦相手	スコア	会場
2	7/3(水)	桐蔭横浜大学	○1-0	味の素スタジアム
3	8/14(水)	ヴァンフォーレ甲府	●0-1	山梨中銀スタジアム

## 2019 TOPICS

### TOPICS-01

#### 過去最高順位の2位でJ1リーグ終了!

2019シーズンのFC東京はJ1リーグの最終節まで優勝争いを演じ、過去最高順位の2位という結果を残すことができました。

### TOPICS-02

#### Jリーグ「ベストイレブン」に6名が選出!

室屋 成選手、森重 真人選手、ディエゴ オリヴェイラ選手、永井 謙佑選手、橋本 拳人選手、林 彰洋選手の6選手が2019 Jリーグベストイレブンに選出されました。



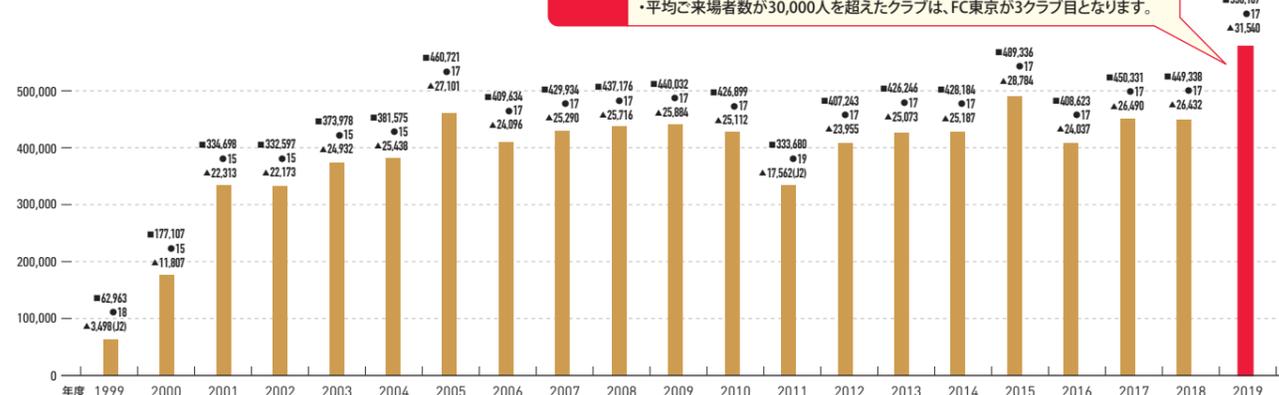
(左から)林 彰洋選手、ディエゴ オリヴェイラ選手、室屋 成選手、永井 謙佑選手、森重 真人選手

### TOPICS-03

#### 代表選出 (2019シーズン在籍選手)

- ・室屋 成(日本代表)
- ・永井 謙佑(日本代表)
- ・波多野 豪(U-22日本代表)
- ・久保 建英(日本代表、U-22日本代表)
- ・ナサンホ(韓国代表)
- ・橋本 拳人(日本代表)
- ・中村 拓海(U-18日本代表)
- ・田川 亨介(日本代表、U-22日本代表、U-20日本代表)
- ・岡崎 慎(U-22日本代表)
- ・波辺 剛(日本代表、U-22日本代表)

## 来場者数推移



TOPICS  
 ・平均ご来場者数31,540名達成!  
 ・FC東京の平均ご来場者数が初めて30,000人を超えました。  
 ・平均ご来場者数が30,000人を超えたクラブは、FC東京が3クラブ目となります。

# 東京都 全域 MAP

## 事務所・アカデミー

- A** [調布事務所]  
〒182-0034 東京都調布市 下石原1-2-3 TSOビル  
【TEL】042-444-2630
- B** [深川グラウンド]  
〒135-0003 東京都江東区 猿江2-15-10  
**FC.TOKYO U-15 深川**
- C** [小平グラウンド]  
〒187-0001 小平市 大沼町3-14-1  
東京ガス武蔵野苑内  
**FC.TOKYO U-18**
- D** \_\_\_\_\_  
**FC.TOKYO U-15 もさし**

## 普及活動

FC東京サッカースクール・フットサルスクールは都内21箇所(スタッフ派遣校8校を含む)で行われており、約4,000名の子どもたちが在籍しています。その他にも、各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行いました。

- T** FC東京サッカースクール
- T** FC東京サッカースクールアドバンスクラス
- FC** FC東京サッカースクール 派遣校

### Pick up!!

### 伊豆諸島、小笠原諸島でもFC東京の普及活動は行われています



東京都の一部である伊豆諸島、小笠原諸島でのサッカー普及活動も行っています。2019年度は5つの島にコーチ達が訪問し、島の方々や子どもたちとサッカーを楽しみました。また多くの島が集まり行われるサッカー大会である、「愛らんどリーグ」にも毎年参加しています。FC東京との関わりが少ない子ども達との交流は、お互いにとって貴重な機会となっています。

普及活動の詳細はP13へ

## 指定管理者

- E** 上井草スポーツセンター  
杉並区上井草 3-34-1  
【TEL】03-3390-5707
- F** 小金井市総合体育館  
小金井市関野町1-13-1  
【TEL】042-386-2120
- G** 小金井市栗山公園健康運動センター  
小金井市中町2-21-1  
【TEL】042-382-1001
- H** 妙正寺体育館  
杉並区清水3-20-12  
【TEL】03-3399-4224
- I** 永福体育館  
杉並区永福1-7-6  
【TEL】03-3328-3146

## ホームタウン活動

クラブに出資いただいている、府中市・三鷹市・調布市・小平市・西東京市・小金井市の6市をはじめ、23区内も含む東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。

### Pick up!!

### 2019 F.C.TOKYO NIGHT in SHIBUYA



都民の日である10/1に、渋谷区内にて『2019 F.C.TOKYO NIGHT in SHIBUYA』を開催。FC東京スペシャルトークショーおよび、東京ドロンパ Birthday Partyを実施しました。

### Pick up!!

### サンシャインシティ「スポーツフェスタ2019」



池袋(豊島区)にあるサンシャインシティにて行われた「スポーツフェスタ2019」では、アウェイ鹿島戦のパブリックビューイングや、サッカーアトラクションを実施し、大変盛況なイベントとなりました。

その他のホームタウン活動はP8へ

## スタジアム

[味の素スタジアム]  
調布市西町376-3



[味の素フィールド西が丘]  
北区西が丘3-15-1



[江東区夢の島競技場]  
江東区夢の島1-1-2



[駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場]  
世田谷区駒沢公園1-1



[FC東京パーク府中]  
府中市宮町1-41-2  
フォレストサイドビル屋上  
【TEL】042-314-1380



スタジアムでのレポートはP6へ



伊豆諸島  
小笠原諸島



味の素スタジアム

住所 東京都調布市西町376-3  
 電話番号 042-440-0555  
 収容人数 48,955人

FC東京・市民スポーツボランティアとは

ホームゲームの運営などをサポートいただいているみなさんです。東京スタジアム(現味の素スタジアム)のこけら落としでもあった2001年3月10日の開幕戦から活動をスタートさせ、19年目となりました。2016年からはFC東京U-23のホームゲームにもご参加いただき、「スタジアム環境のさらなる充実」に向けてご協力いただいています。



スタジアムにおける福祉サービス



車椅子

FC東京のホームゲームでは車椅子を利用して観戦される方に向けて、車椅子席を常設約50席、臨時約300席をご用意しています。また車椅子専用入口やオストメイトトイレなどの設備も完備しています。



磁気ループ

聴覚障害の方も臨場感あふれる観戦をお楽しみいただけます。聴覚障害の方へ聴覚補助機能を提供する磁気ループを設置し、補聴器についているテレコイル機能を使うことで直接補聴器へ音を届けることができます。(事前申込制)



ナーサリー

満1歳〜6歳の未就学児を対象に、子ども連れのお客様にも安心して観戦していただくための一時託児サービスを行っています。(完全予約制・有料)

マッチイベント

スタジアムのワンダーランド化を目指し、様々なイベントを実施。7月7日(日)ガンバ大阪戦では『びあ Day』を開催し、七夕をモチーフした七夕限定オリジナルフットボールシャツを配布しました。また、「青赤パーク supported by XFLAG」では、アーティストのミニフェスやお勧めのパン屋を集めたパンフェスタを実施。ご来場のみなさまに広く楽しんでいただけるイベントを行いました。



2019年 マッチイベント実施報告

開催日	対戦相手	イベント名
3月10日(日)	サガン鳥栖	東京ガス Day
4月14日(日)	鹿島アントラーズ	AIDEM DAY
4月28日(日)	松本山雅FC	東京ガスライフバル Day
5月12日(日)	ジュビロ磐田	明治安田生命 Day
5月18日(土)	北海道コンサドーレ札幌	りらあコミュニケーションズの日
6月1日(土)	大分トリニータ	三菱電機 Day
6月15日(土)	ヴィッセル神戸	大矢運送 Day
6月29日(土)	横浜F・マリノス	Teddy Bear Day
7月7日(日)	ガンバ大阪	びあ Day
7月14日(日)	川崎フロンターレ	AJINOMOTO Day
8月3日(土)	セレッソ大阪	umbro Day
8月10日(土)	ベガルタ仙台	XFLAG Day
11月23日(土祝)	湘南ベルマーレ	きらぼし銀行 Day
11月30日(土)	浦和レッズ	ジーク Day

ゲスト登場!

2019シーズンのホームゲームには、たくさんの特別ゲストが登場!試合前のスペシャルLIVEや、ハーフタイムのイベントでスタジアムを大いに盛り上げていただきました!

3/10(日)	鳥栖戦	畠山健介(プロラグビー選手)、ガリットチュウ(お笑い芸人)
4/28(日)	松本戦	平井大(アーティスト)
5/12(日)	磐田戦	チョコレートプラネット(お笑い芸人)
11/23(土祝)	湘南戦	畠山健介(プロラグビー選手)



▲畠山健介(プロラグビー選手)



▲平井大(アーティスト)



▲チョコレートプラネット(お笑い芸人)

青赤パーク supported by XFLAG

2019シーズンより、XFLAGのご協力、ご支援をいただいて「青赤横丁」が「青赤パーク supported by XFLAG」になってリニューアルオープンしました。試合のチケットを持っていなくても、誰でも参加ができる完全無料のサッカーイベントなど楽しい催しを多数実施。また、青赤パークならではの限定メニューや美味しいフードやドリンクも販売しました。



フード



15台〜20台のキッチンカーやテントが出店したフードイベントを実施しました。対戦相手にちなんだ特別メニューの販売や、全国各地の有名スタジアムグルメを集めたイベント企画などを実施し、多くのファン・サポーターに足を運んでいただきました。

モンスターフットボール



通常の約5倍の大きさのサッカーボールを使った巨大サッカーを体験できるイベントです。友達同士やファン・サポーターと一緒に楽しむことができます。

クラブスポンサーブース



展示やサンプリング、体験会など、FC東京のクラブスポンサーよりみなさまに役立つ情報をお届けするブースを出版。

キッズスペース

未就学児とそのお連れの方を対象としたキッズスペースを実施しました。プレイマットやトンネルで遊んだり、ゆっくりお休みいただける休憩所としてお使いいただいています。



シューティングゴルフ



ボールを蹴ってカップインを目指すサッカーとゴルフを融合したイベントを実施しました。

フットサルマッチ



FC東京サッカースクールのコーチと一緒に楽しむことができるフットサルマッチを実施しました。

ステージ・ビジョン



音楽LIVEやeスポーツ対戦のほか、選手のトークイベントなどを実施しました。また、ハイライト動画を放映し飲食しながら楽しめる空間を提供しています。

オリジナルサッカー盤



人形が付いた棒を回してボールをゴールに入れるサッカーゲームを実施しました。親子や友達と一緒に夢中になって遊んでいただいています。



東京ドロンパ スピードチャレンジ

自分のシュートスピードとシュートフォームが入った青赤パーク限定の画像がもらえるイベントを実施しました。

選手会による活動

# ホームタウン活動 HOMETOWN TOKYO

## 街のイベント



年間約50回の地域イベントに参加し、子どもたちに人気のキックターゲットなどのサッカーアトラクションで延べ10,000名の方々に楽しんでいただけたほか、景品提供や選手メッセージの放映など、さまざまな形で地域のみならず協力・連携して街を盛り上げるお手伝いをさせていただいています。

## 街路灯フラッグ掲出



2019年より新しいデザインの街路灯フラッグが掲出されています。都内の約100か所の商店会などに約5,000本の青赤フラッグが掲げられたほか、麻布十番商店街やささはた(笹塚・幡ヶ谷)エリアの商店会にはオリジナルデザインの青赤フラッグを掲出いただき、地域に根ざしたクラブを広くPRしていただいています。

## 選手商店会巡回



青赤の街路灯フラッグや試合告知ポスターの掲出などを通してご支援・ご協力いただいている商店会を選手が訪問する「商店会巡回」は今年で18回目となりました。選手たちは14グループに分かれ、都内50か所以上の商店会をまわり日頃のお礼を伝えるとともに、サインや記念撮影など地域のみならずふれあいました。

## 選手小学校訪問



今回で12回目となる小学校訪問は、「サッカーを通じて夢や希望を伝えたい」という想いから、選手会とクラブで協力して継続している活動です。今年も都内の小学校14校、約1,300名の子どもたちとミニサッカーで身体を動かし、夢や努力、仲間の大切さについて話したり、一緒に給食を食べて交流を深め、笑顔があふれる訪問となりました。

## 小児病院訪問



小児病院へのトップチーム選手の訪問(11ページ参照)と併せて、同病院に入院している子どもたち向けのサッカー教室と応援・観戦ライブビューイングをクラブとして初めて実施しました。子どもたちは自分のできる範囲で楽しそうにボールを蹴り、ライブビューイングではゴールや勝利にみんなでハイタッチをして喜びを分かち合いました。

## 自治体表敬訪問



クラブに出資していただいている府中市・三鷹市・調布市・小平市・西東京市・小金井市の6市へ、シーズン終了の報告として選手たちが表敬訪問し、各市長に日頃のご支援・ご協力のお礼を伝えました。また各市では職員や市民向けの報告会や花束贈呈を実施していただきました。

## 高齢者体操教室



クラブと自治体との協働で、高齢者を対象とした自治体の介護予防施策の一環として、サッカーの動きを取り入れた体操教室を毎年継続して実施しています。高齢化という地域課題の中でも、アクティブシニア向けの企画として人気が高く、参加者のみなさまは笑顔で体を動かしています。

## ホームゲームでのシティプロモーション



ホームゲーム時に開催している「青赤パーク supported by XFLAG」にて、ホームタウンの各地域の名産品や名物料理のキッチンカー販売、ご当地キャラクターの来場や地域のイベントPRなどを実施しています。また区報・市報を通じた地域のみならずの招待企画など、各自治体と連携した取り組みを進めています。

## コラボモニュメント完成



練習グラウンドのある小平市にて、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングで寄付を募り、小平市のシンボルキャラクター「ぶるべー」とFC東京チームマスコット「東京ドロンパ」のコラボモニュメントが小平駅前(南口)に設置されました。3/20(水)には除幕式が行われ、東京ドロンパや石川直宏クラブコミュニケーターが参加しました。

## 23区内での活動

### 浅草新仲見世商店街「羽子板ストリート2019」



台東区

12/2(月)に浅草新仲見世商店街(台東区)にて開催された「羽子板ストリート2019」に東京ドロンパが参加しました。鷹の頭を先頭に、新仲見世商店街マスコットの新しいかとと一緒に各店舗に伺い、商売繁盛を祈念して手締めを行いました!



### パブリックビューイング

10/19(土)に開催の明治安田生命J1リーグ 神戸戦のパブリックビューイングを渋谷区にあるDAZN CIRCLEにて実施しました!大画面でのパブリックビューイングに参加者は熱い応援をしました!見事に試合も勝利し、大変盛り上がるパブリックビューイングとなりました。

### サッカー×防災イベント

サッカーの動きを通して防災やコミュニケーションを学ぶ「品川区×サッカー防災\*ディフェンス\*アクション」のイベントを3月と10月に実施しました。石川直宏クラブコミュニケーターも参加し、子どもたちといっしょに体と頭をつかって、楽しみながら学ぶことができました。(協力:HITOTOWA INC)



渋谷区

### インドネシア指導者派遣

国際交流基金アジアセンターとJリーグが主催する事業にFC東京が協力し、スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業として、インドネシア「バヤンカラ FC U-12」へ8月に指導者短期派遣を行いました。



### アラブ首長国連邦 アブダビ首長国におけるサッカー人材育成事業への協力

日本、アラブ首長国連邦、両国のユースチーム同士の合同練習や交流試合等サッカー分野における人材交流事業の活発な展開を通じて、アラブ首長国連邦との関係強化を目的として実施。2019年2月にU-18がアブダビへ遠征し、地元クラブとのトレーニングマッチを行いました。



### バンコク・ユナイテッドとの提携

アカデミー所属選手の育成、トップチームの強化を目的とした交流、新規事業の開拓を目的とし、2017年3月に提携を開始。U-23 タイ代表経験もあるナットウット選手は2019シーズンFC東京U-23で試合に出場し、3得点を記録。またアカデミーの選手2名がFC東京U-18の練習に参加するなど、継続したクラブ間の交流を図っています。



### 独立行政法人 国際協力機構との交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に2014年からスタートした独立行政法人国際協力機構(JICA)との国際交流。今年は計35ヶ国79名の研修生を試合に招待しました。



## F.C.TOKYO U-23

2016シーズンにJ3リーグに参入し、4シーズン目を迎えました。J1リーグの舞台上で活躍することを目指す若き青赤戦士たちです。



## スタジアムイベント

### マッチイベント



6月8日(土)AC長野パルセイロ戦にて、『ジーク CHALLENGE MATCH』を開催。ご来場者先着1,500名に「オリジナルうちわ」を配布、ブース出展も行いました。

### 地域の方々とのイベント



スタジアム周辺地域の少年・少女のサッカーチーム同士で交流戦を行うキッズマッチを実施いたしました。

### 都外でのホームゲーム



ラグビーワールドカップ2019の開催および2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたスタジアムの改修工事などの影響により、東京近郊のスタジアムにて試合が開催できず、都外にてホームゲームを開催いたしました。

- ・10月6日(日)ロアソグ熊本戦:宮崎市生目の社運動公園陸上競技場 ※宮崎県で初のJリーグ開催となりました。
- ・10月20日(日)SC相模原戦、10月27日(日)福島ユナイテッドFC戦:Jヴィレッジスタジアム

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	ギラヴァンツ北九州	66	19	9	6	51	27	24
2	サスノックサツ群馬	63	18	9	7	59	34	25
3	藤枝MYFC	63	18	9	7	42	31	11
4	カタレ富山	58	16	10	8	54	31	23
5	ロアソグ熊本	57	16	9	9	45	39	6
6	セレッソ大阪U-23	52	16	4	14	49	56	-7
7	ガイナレ鳥取	50	14	8	12	49	59	-10
8	ブラウブリッツ秋田	49	13	10	11	45	35	10
9	AC長野パルセイロ	49	13	10	11	35	34	1
10	ヴァンラーレ八戸	48	14	6	14	49	42	7
11	福島ユナイテッドFC	43	13	4	17	45	53	-8
12	アスルクロ沼津	39	11	6	17	35	43	-8
13	Y.S.C.C.横浜	39	12	3	19	53	65	-12
14	カマタマーレ讃岐	39	10	9	15	33	49	-16
15	SC相模原	38	10	8	16	36	45	-9
16	FC東京U-23	36	9	9	16	43	52	-9
17	ガンバ大阪U-23	35	9	8	17	54	55	-1
18	いわてグルージャ盛岡	26	7	5	22	36	63	-27

※2020シーズンよりギラヴァンツ北九州、サスノックサツ群馬がJ2リーグ昇格、鹿児島ユナイテッドFC、FC岐阜がJ3リーグ降格、FC今治がJFLより昇格。

## J3 TOPICS

### 原 大智選手が J3リーグ得点王に輝く!



原選手はJ3リーグで19得点を記録し、FC東京所属の選手として初めてJ3リーグ得点王に輝きました。

## スタジアム紹介



味の素フィールド西が丘  
北区西が丘3-15-1



江東区夢の島競技場  
江東区夢の島1-1-2



駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場  
世田谷区駒沢公園1-1

📍：東京都との取り組み

👤：選手会による活動

あおぞらサッカースクール



一人でも多くの子どもたちがサッカーを通じて楽しく元気に育ってもらえるよう、知的障がいのある子どもたちを対象にサッカー教室を開催しています。これまで調布市にて不定期で実施していた「ここはサッカークリニック」を「あおぞらサッカースクールin調布」として発展させ、毎月1回継続的・定期的な活動も行っています。

🌱 福島県復興支援活動



東京都総務局復興支援対策部、福島県事務務所、さらに「ヴィレッジ(DREAM福島フロントオフィス)」と連携し、8/10(土)ベガルタ仙台戦にて福島県復興支援PRブースを展開しました。福島の名産品の販売や体験型の観光PRを実施したほか、この試合に福島から都内に避難されているみなさまを招待しました。

少年少女観戦送迎バスツアー



東京都内在住の子どもたちを送迎バス付きでホームゲームに招待します。多くの企業・団体からCSR活動(企業の社会的責任)の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えるお手伝いをしています。

多摩少年院 院外実習



多摩少年院の在院生の社会復帰のサポート。東京に暮らす少年たちが社会から取り残されることなく、出院後も地域で活躍してほしいとの願いから、今年度から多摩少年院と法務省と連携し取り組み始めた活動です。

リーグ TEAM AS ONE 一斉募金



東日本大震災および熊本地震災害等の被災地復興支援として「リーグ TEAM AS ONE一斉募金」を実施しました。FC東京では3月に行われたJ1リーグ、J3リーグのホームゲーム計4試合にて募金活動を行いました。

「ECOバスプロジェクト in 味スタ」の実施



資源の有効活用を目的に帝人フロンティア株式会社と一緒にゴミの分別・ペットボトルの回収に取り組みました。今シーズンのペットボトル回収量は約6.5トンとなり、リサイクルして製造した素材を社会福祉法人東京コロニーにて加工・製法したECOバスバッグも販売しました。

リーグ TEAM AS ONE 令和元年台風第19号災害義援金募金



10月・11月に開催した明治安田生命J1リーグ、J3リーグのホームゲーム計6試合において、「リーグ TEAM AS ONE 令和元年台風第19号災害義援金募金」を実施しました。

🌱 オレンジリボンキャンペーン



東京都福祉保健局および多摩児童相談所と連携して「オレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止)」普及啓発活動に協力しました。東京ドロンパのイラストが入った啓発グッズなどの配布のほか、キャラクター「OSEKAIくん」の登場や大型映像機での「体罰などによらない子育て」普及啓発動画の放映などを通じてPRを行いました。

🌱 ピンクリボンin東京



東京都福祉保健局がすすめる、主に乳がんなどの予防・検診啓発活動「女性の健康週間」、「ピンクリボンin東京」に協力し、スタジアムでのPR活動を実施しました。11/23(土祝)湘南ベルマーレ戦での「ピンクリボン」PRブースでは、東京ドロンパがデザインされたピンク色のコラボタオルマフラープレゼントも行いました。

🌱 人権啓発活動



東京都総務局人権部、東京法務局、人権擁護委員等と連携しての人権啓発活動PRを実施しました。今年もコラボデザインの啓発グッズ配布のほか、東京ドロンパと人権啓発キャラクターがいっしょに場内を周回してPRを行いました。また11月には東京国際フォーラムでの人権啓発イベント「ヒューマンライツ・フェスタ」に東京ドロンパが出演しました。

🌱 赤い羽根共同募金



11/23(土祝)湘南ベルマーレ戦にて、東京都共同募金会ならびに共同募金調布地区協力会との協働で「赤い羽根共同募金の募金活動」を行いました。チームカラーに合わせて毎年特別に制作される「青赤の羽根」と、売上が募金となる「チャリティーピンバッジ」は、ファン・サポーターのみならずにも定着してきています。

👤 選手会復興支援活動



9/17(火)、東日本大震災で被災した福島県双葉郡富岡町の小学校を選手8名が訪問し、子どもたちと先生の校庭で身体を動かしたり、一緒に給食を食べて交流を深めました。訪問の後は実際に津波などの被害があった場所を地元ボランティアの方にご案内いただき、復興の現状や災害対策などについて学びました。

分身ロボット OriHime 活動



世田谷区にある、独立行政法人国立医療育成センター内に都立光明学園「そよ風教室」の遠隔社会科見学を実施いたしました。分身ロボット OriHimeを抱えた先生に小平グランドに来てもらい、入院中のため外出が難しい児童・生徒へ練習場のグランドキーパーから芝生の話や選手や石川ICCとも交流を重ねました。

👤 選手会小児病院訪問



都立小児総合医療センターとの連携の一環として、さまざまな病気や怪我で入院している子どもたちのもとへ選手が訪問してプレゼントを渡したり、サインや記念撮影を行いました。今回は10名の選手が2人組となり5グループに分かれ、「体」の病棟と「心」の病棟あわせて約300名の子どもたちとふれあいました。

👤 ドナルド・マクドナルド・ハウス訪問



困難な病気を患い長期入院している子どもを支える家族と、その家族を支えるためにハウスで活動されているボランティアの方々を三田選手がふれあい励ますことで、長期入院している子どもたちの支援につながるの思いからこの活動を実施しました。

👤 選手招待シート



FC東京選手会として地域に貢献したいという想いに所属全選手(2019/3/1時点)が賛同し、選手自らが年間チケットを購入して、ホームタウンの各自治体や福祉団体、教育委員会等と連携して、さまざまな障がいのある方々やそのご家族を中心にホームゲームに招待しています。

🌱 ヘルプマーク普及啓発活動



義足や内部障がい、難病の方など援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々のための「ヘルプマーク」の普及啓発活動に協力し、6/1(土)大分トリニータ戦で啓発グッズを配布しました。今年は東京ドロンパコラボの「うちわ」やパンフレットをお渡ししたほか、大型映像機でのPRなども実施しました。

社会を明るくする運動



サッカーを通じて子どもたちに夢を与え、非行防止と健全育成に役立てることを目的として、調布市と連携して「社会を明るくする運動」に協力しています。ホームゲームでの啓発ポスター掲示、ハーフタイムの横断幕周回などを通じてPRを行ったほか、11月には調布・狛江地区保護司会と連携しての中学生サッカー教室を開催しました。

社会連携活動

FC TOKYO



FC東京では、自治体・学校・企業/団体等と連携して、地域の課題の解決に取り組んでいます。「子どもたちの未来につながる活動」と「障がい者スポーツの支援」に重点をおいて活動しています。

育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



選手育成コンセプト

- Speed ..... スピード
Personality ..... 人間性
Insight ..... 洞察力・判断力
Race ..... 競争
Independence ..... 自立
Technique ..... テクニック

サッカースタイル

- Attack
Transition
Collective
Possession

FC TOKYO アカデミー出身選手 ※2019シーズン在籍選手



FC TOKYO U-18

Team photo of FC Tokyo U-18 with list of achievements including national and international tournament results.

FC TOKYO U-15

Two team photos for FC Tokyo U-15 (Shinkawa and Musashi) with lists of tournament achievements.

年代別日本代表



サッカースクール・フットサルスクール

都内21箇所(スタッフ派遣校8校を含む)で行われている「サッカースクール・フットサルスクール」には、約4,000名の子どもたちが在籍しています。



サッカー・フットサルを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。

Grid of 8 photos illustrating various activities: Soccer Festival, Karavan Team Kids Tour, Soccer Clinic/Lecture, Girls' Soccer Class, Indoor Soccer/Futsal Class, Kids Match, FC Tokyo Park Party, and Designated Managers.

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行。2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ(当時)昇格。2018年に墨田区総合体育館をホームアリーナとし、V.LEAGUE Division 1 (V1)に参戦中。



活動方針

1 バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

2 バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

3 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。

2018-19シーズンの戦績

2018-19 V.LEAGUE Division1 MEN 順位表

順位	チーム名
1位	パナソニックパンサーズ
2位	JTサンダーズ広島
3位	東レアローズ
4位	サントリーサンパース
5位	ウルフドッグス名古屋
6位	堺ブレイザーズ
7位	ジェイテクトSTINGS
8位	FC東京
9位	大分三好ヴァイセアドラー
10位	VC長野トライデンツ

○平成30年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 ベスト8  
○第68回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 ベスト8



普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによるバレーボール教室を2002年から開催。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。2019年度は東京都内の小・中学生～高校生を対象に10回開催。約1,300名が参加し、選手達と汗を流しました。また、18歳以上の女性が対象の「駒沢バレーボールコミュニティ」、小学生を対象とした「墨田バレーボール教室」など、FC東京バレーボールチーム普及専門スタッフによるレッスンも定期的実施。その他、普及専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



2019年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
第6回 スキルアップ講習会	7月14日(日)	明治大学付属明治高等学校体育館	50人
西東京市ジュニアバレーボール教室	7月15日(月祝)	西東京市総合体育館	100人
杉並区中学生ジュニアバレーボール教室	7月27日(土)	杉並区井草中学校体育館	122人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月28日(日)	立正大学付属立正中学校・高等学校体育館	248人
第9ブロック中学生バレーボール教室	7月30日(火)	府中市立府中第四中学校体育館	237人
小金井市ジュニアバレーボール教室	7月31日(水)	小金井市総合体育館	68人
第6ブロック中学生バレーボール教室	8月1日(木)	TG深川体育館	160人
東村山市ジュニアバレーボール教室	8月3日(土)	東村山市市民スポーツセンター	185人
杉並区小学生ジュニアバレーボール教室	8月4日(日)	杉並区阿佐ヶ谷中学校体育館	69人
荒川区ジュニアバレーボール教室	8月4日(日)	荒川区汐入小学校体育館	85人

墨田区での活動の様子

ホームアリーナでもある墨田区総合体育館でのホームゲームをはじめ、すみだまつりでリーグPR告知や、清掃活動などさまざまなイベントに参加しています!



練習場

TG深川体育館  
〒135-0003 東京都江東区猿江2-15-10  
(東京ガス深川グラウンド内)

チームマスコット

東京ドロンパ

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。知らぬ間にパツと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、「東京ドロンパ」というわけである。狸の世界では誰もが認める東京ファンである。そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。2019シーズンも様々な場所で活躍。例年実施している「東京ドロンパBirthday Party」は渋谷区で初開催。ファン・サポーターを虜にする。



クラブスポンサー

TOKYO GAS 三菱商事 MITSUI & CO. 清水建設  
 きらぼし銀行 TOKYO MX XFLAG XFLAG  
 umbro KIRIN キリンビバレッジ SHIPS amino VITAL フェノバタール nishikawa  
 TOKYO GAS LIFE VAL セアノールアム あお MOI 商船三井 Aj 東京ガスグループ CBC GROUP  
 BRI グッドコムアセット 住友商事 金太郎ホーム TLT 東京ガスグループ MITSUBISHI ELECTRIC  
 大矢運送 ENEOS JFE 日本郵船 ES EUROSPORTS 関電工  
 明治安田生命 栗田工業株式会社 INPEX MARUTONE MALAYSIA LNG NIPPO  
 日鉄P&E Sieg Relia, Inc. IHI Realize your dreams 大林組 鹿島  
 クレスコ Sunshine City J:COM 銭高組 大成建設 TOKYO GAS ネット  
 TOKYO GAS ENGINEERING SOLUTIONS 東京ガス不動産 この前にも、新しい未来を。 Mercedes-Benz Del Monte DYM  
 岡谷鋼機 ニチパン POWER SHINRYO TOMAS TEIJIN  
 滋産学園グループ Dr.ストレッチ ネットワーク R-1 ビックカメラ おき家  
 セントラル信託FX XSCORE ナイテック オフィスバーディンション Rooters Nishitetsu 西鉄旅行 Liv Group  
 東京建物 MARKESTRA PR TIMES TOSHI 株式会社トシ・コーポレーション co-op deli e-TRUTH  
 HDS イーデザイン損保 東京ガスグループ 新さぼてん 渋谷不動産エージェンツ